

あさざいだより

平成 30 年 4 月 春号 No.18

安佐在宅診療クリニック

〒731-0103

広島市安佐南区緑井6丁目 37-5

TEL 082-831-6306

FAX 082-831-6307

http://asa-zaitaku.jp/



今年は例年より早く桜が開花しましたね。日本の桜がなぜこんなに一斉に同じ時期に咲くのか、それは日本の桜のほとんどを占めるソメイヨシノがみな同じ遺伝子をもつクローンだからだそうです。ソメイヨシノが誕生したのは江戸末期と言われており、現駒込駅近くの染井村で植木職人が大島桜と江戸彼岸桜を交配してできた品種と言われています。それが各地に接ぎ木され全国に広がったと言われており、元々は同じ遺伝子を持つ桜のため一斉に同じ時期に花を咲かせるのです。ソメイヨシノ登場以前に桜の代名詞だったヤマザクラは、花見ができるほど多くの花がつくサイズまで成長するのに 10 年かかりますが、ソメイヨシノは 5 年ほどで見栄えのするサイズに育ち、花も大きくきれいなことから、花見の名所を作るには好都合で、明治時代以降ソメイヨシノが全国に普及したと言われています。韓国では済州島のエイシュウザクラがソメイヨシノに似ていることより日本の桜の起源は韓国だという説が未だに信じられていますが、DNA から別物で、ソメイヨシノは日本の桜と位置づけられました。ただこの桜は寿命が 60 年あまりと短く、現在ある桜のほとんどが老木で、寿命が近づいてきていることが問題となっており、心配ですね。日本人にとって想い入れの深い桜がこれから先も見られることを切に願います。

今回は国の社会保障対象となっている悪性中皮腫についてお話しします。中皮腫は石綿（アスベスト）が原因で起きる癌です。中皮と言うのは肺を包む胸膜、心臓を包む心膜、腹部臓器を包む腹膜などの膜の表面を覆っている組織で、この中皮から発生した癌が悪性中皮腫です。アスベストと言うのは地中に生成される岩石の仲間で蛇紋石や角閃石が線維状になったもので目には見えないほどとても細いため加工・処理中に大量に飛散し、それを吸いこむと肺の中を通り過ぎて胸膜に突き刺さり、長く胸膜に突き刺さったままとどまり続けます。そしてそれが 20~50 年の長い時間をかけて癌化していくのです。アスベストは高い耐熱性や電気絶縁性、気密性から、昔から耐火建築物や断熱材、保温材、吸音材に利用され、軽いため屋根や天井にも使われてきました。加工しやすいため様々な形に変え、セメントや塗料に混ぜられても使用され、自動車、家電製品、家庭用品など身の周りの色々なところに使われてきました。私が育った昭和の時代は本当に普通に身の周りにも使用されており、学校の理科の実験の時にも石綿金網が使われていましたよね。体育館や倉庫の屋根などに普通に剥き出しの石綿が使われている学校や会社も多かったと思います。日本では 2004 年に建材としての使用が禁止されることになり、石綿除去工事がいたるところで行われましたが、配管やポンプのつなぎ目に使用されるシールへのアスベスト使用はまだ規制対象ではなく使用されており、使用されている建物を壊したりリフォームする時に飛散して知らずに吸入してしまうということは今後もあり得ます。そして現在、石綿を普通に吸い続けていた人たちが発癌する時期になり、悪性中皮腫になる人が増えています。国内で中皮腫で亡くなる人は 20 年前は年間 500 人程度でしたが、今はその 3 倍くらいになっています。実際私が医者になった頃は中皮腫の人をそう診ることはなく、どちらかと言うと珍しい癌でしたが、最近は本当に多くなりました。またアスベストは中皮腫だけでなく肺癌にもなるので、暴露歴がある方は定期的に健康診断を行い、もし肺癌や中皮腫と診断された場合は労災補償対象となるため、働いていた事業所へ問い合わせしてください。造船所や自動車整備工場、鉄鋼所、解体建築現場などで働いていた人は要注意です。ただ石綿被害が出るまでには何十年もかかり、現役の労災補償対象となる機会は意外と少なく、労災補償の対象から外れてしまう人や、救済対象とならない周辺住民などに対しても救済給付がありますので、もしかしらと思う方は、近隣の保健所に相談してください。中皮腫は片側の肺に胸水が溜まって咳や胸痛、呼吸困難が現れますが、症状が出た時点では治療効果が得られない段階に進行していることも多いです。早期であれば胸膜・肺全摘出術で根治することも可能ですが、片肺を失うというとても侵襲の強い手術となります。手術不能例では抗癌剤治療となりますが、それでも予後は極めて不良なので、癌になる前にみつかることが大事です。



花粉症を引き起こす植物

花粉症というとスギやヒノキのイメージが強いですが、実はスギ・ヒノキ以外にも多くの樹木の花粉症が知られています。「スギ花粉の時期でもないのに鼻水が止まらない。目がかゆい」…そんなときは他の植物の花粉症かもしれません。花粉症を引き起こす樹木や草をご紹介します。



スギ花粉

飛散時期は2—4月。飛散量が多く、日本でも多い花粉症の原因。
飛散距離が長く、ごくわずかな飛散量の北海道・沖縄を除き、全国で発症。
鼻水、目、のど、皮膚の症状も。



ヒノキ花粉

飛散時期は3—5月。飛散距離が長く、広範囲で発症。
スギ花粉症と合わせてヒノキ花粉症を持っている人も多く、
その場合は重症化しやすい。スギ花粉と同じ症状。



ハルガヤ花粉(イネ科)

飛散時期が5—9月。イネ科の植物で、カモガヤ、オオアワガエリなどもある。
道路わきなどの道端や公園、河川敷、草地の身近な場所に育成。飛散距離が
短いので、近づかないことで症状を抑えることができる。



ブタクサ花粉

飛散時期は8—10月。日本では、スギ、ヒノキに次いで多い花粉症。一年草
で、高さが1mほどになる。ハルガヤ同様に飛散距離が短いため、近づかなければ
避けられる。鼻、目の症状の他、喘息の原因にもなる。



ヨモギ花粉

飛散時期は8—10月。繁殖力が強く、雑草の生い茂る河川敷、空き地などに
群生していることが多いので、散歩などで近くを通るときは注意が必要。
鼻水・鼻づまりや目のかゆみなどが主な症状。

お知らせ

平成30年診療報酬改定にともない*在宅時医学総合管理料の点数が変わり、新しく加算ができました。
当院では「機能強化型在宅療養支援診療所」として、1割負担の方では4200円(3割負担の方は
12,600円)を計算させていただいていましたが、4月診療分より4,100円(12,300円)に変わります。
下記のいずれかに該当される患者様は、包括的支援加算(患者様の状態に応じたきめ細やかな診療の
評価として)が新設されましたので、150円(450円)を加算させていただきます。ご理解を賜りますよう
お願いいたします。(指定難病医療等の疾患に罹患されている患者様は、5,000円(15,000円)で変更はあり
ません。)



- (1) 要介護2以上に相当する患者様
- (2) 認知症高齢者の日常生活自立度でランクⅡb以上の患者様
- (3) 月4回以上の訪問看護を利用されている患者様
- (4) 訪問診療時又は訪問看護時に処置(簡単な処置を除く)が必要な患者様
- (5) 特定施設等の入居者の患者様の場合は、医師の指示を受けて、看護師が痰の吸引、胃瘻・腸瘻の管理等の処置が必要な患者様
- (6) その他、関係医療機関等との連携のために特に重点的な支援が必要な患者様

*在宅時医学総合管理料：通院が困難な患者様に対し、ご本人様の同意を得て、計画的な医学管理の下に定期的な訪問診療をする場合、月1回算定します。

マスク、うがいなど対策をしっかりとって花粉の時期を乗り切りましょう。外来通院が難しくなった、自宅でゆっくり療養したいなど、在宅療養をお考えの方がいたら、お気軽にご相談ください。(窓口:杉原)